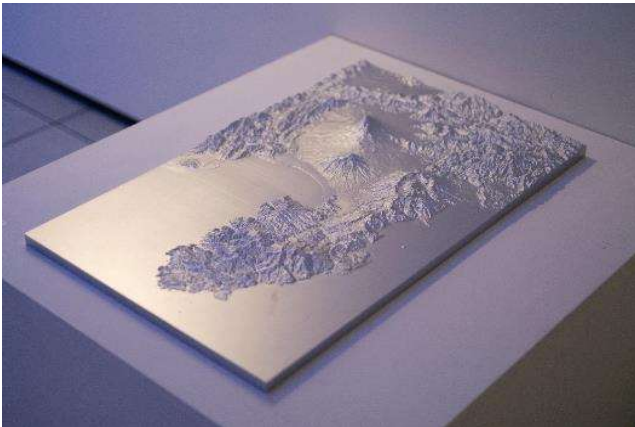


株式会社 三木製作所

2023年度環境経営活動レポート

(対象期間:2023年10月~2024年9月)



作成日: 2024/12/20

環境経営方針

<環境理念>

株式会社三木製作所は建材関連の金型・エンボスロール製作技術を通し、顧客である建材メーカー・素材メーカーの環境型商品の開発をサポートすることにより地球環境保全に貢献すると共に、全社員が地球環境保全の重要性を認識し、事業活動において環境保全に積極的に取り組み、循環型社会の構築に邁進します。

1. 次の事項について環境経営目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

①二酸化炭素排出量の削減(低炭素社会への対応)

- ・電力使用量の削減
- ・自動車燃料使用量の削減

②廃棄物の削減及び再資源化の推進(循環型社会への対応)

- ・一般廃棄物、産業廃棄物の削減

③排水量の削減(水資源の保全)

- ・水道水使用量の削減

④品質管理(クレーム・手戻り品の削減)

- ・材料、輸送、機械稼働に伴う電力使用等のロスを削減

⑤省エネ型成型機、成形型の開発・販売促進

⑥化学物質の適正な管理

⑦事務用品のグリーン購入

⑧社会貢献

- ・工場周辺の緑化活動・清掃活動の推進

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. この環境経営方針を全従業員に周知・徹底します。
また環境教育を徹底することで、従業員の環境意識向上に努めます。

4. この環境経営方針および環境レポートはホームページ等を活用し、社外に公表します。

制定日：2012年6月29日

更新日：2023年1月1日

代表取締役社長 三木 元親

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 三木製作所

代表取締役社長 三木 元親

(2) 所在地

本 社 大阪市西淀川区大野 1-2-20

技術開発センター 大阪市西淀川区大野 1-7-28

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 代表取締役 三木 元親 TEL:06-6473-3414

担当者 代表取締役 三木 元親 TEL:06-6473-3414

(4) 事業内容

精密金型の製造・販売

主要製品: 建材金型・エンボスロール・デザインモデル

(5) 事業の規模

製品出荷額 78.7百万円(税込み)(2024年9月末)

主要製品生産量 エンボスロール20本 プレス型44面

	本社	技術開発センター
従業員	5名	1名
延べ床面積	455.64㎡	386.91㎡

(6) 事業年度 10月～9月

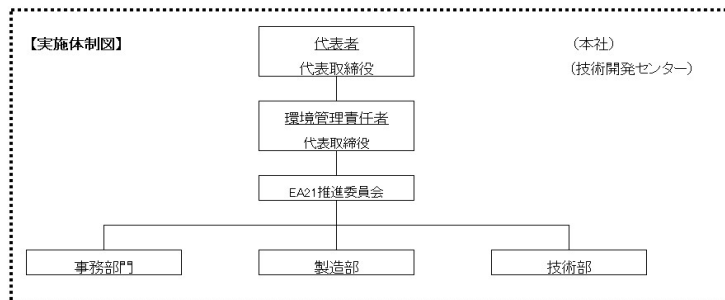
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社 三木製作所

対象事業所: 本社、技術開発センター

活動: 精密金型の製造・販売

(7) 実施体制図



□環境負荷の推移

項目		2010年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	104361	98595	96594	90835	68701	51434
一般廃棄物排出量	kg	3848	2361	1563	1986	1982	1821
水使用量	m	84	72	82	93	85	63

注1: 二酸化炭素総排出量にガソリンが含まれております。

注2: 産業廃棄物(段ボール・缶・金属くず等)は資源ごみとして再利用しております。

□環境経営目標及びその実績

項目		年度	基準年度 (2010年度) ※一部2020年 度	2023年度 上段: 通年		2024年度	2025年度
			(基準)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
※電力使用量の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2		61,675	54,891	45,405	54,274	53,657
	出荷高(万円)		8,338		7,158		
	基準年度比			89%	74%	88%	87%
	原単位(kg/万円)	7.4	6.6	6.3	6.5	6.4	
ガソリンの二酸化炭素排出量削減	kg-CO2		8,096	7,205	6,029	7,124	7,044
	原単位(kg/万円)		97.1	86.4	84.2	85.4	84.5
	基準年比			89%	74%	88%	87%
※上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO2	69,771	62,096	51,434	61,398	60,701
基準年度比			100%	89%	74%	88%	87%
		原単位(kg/万円)	837	745	719	736	728
一般廃棄物の削減	kg		3,848	3,425	1,821	1,803	1,785
	基準年比			89%	47%	※前年比マイナス 99%	98%
水使用量の削減	m		84	75	63	74	73
	基準年比			89%	75%	88%	87%
品質管理 (クレーム・手戻り品削減)	件		2	7	11	10	9
	前年比		(-1件を目標)				
製品への環境配慮 (製品出荷数に占める環境配慮製品の割合)	%		50	50	25	50	50
	基準年比				50%	100%	100%
溶剤の適正管理 (チェックリスト法)	回		12	12	12	12	12
	基準年比			100%	100%	100%	100%
グリーン購入	品目数		6	16	16	17	18
	基準年比			267%	267%	283%	300%

※2020年度電気事業者別二酸化炭素排出係数: 関西電力株式会社(調整後) 0.351kg-CO2/kWh

□環境経営活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

○達成できた △一部未達成 ×未達成

取り組み計画	目標達成/ 未達成	次年度 目標値	評価(結果と次年度の取組内容)
電力使用量による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	○	88%	基準年度比、売上比86%、原単位換算で14%減
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	継続	前回より電力CO2排出係数を2020年度基準に変更。売上、機械稼働共減少したため、目標達成となった。高稼働時のCO2排出抑制に引き続き取り組む。
・空気圧縮機のエア圧力設定変更	○	継続	
・水銀灯蛍光灯をLEDに切り替え	○	継続	
・クールビズ・ウオームビズの推進	○	継続	
・窓・FRP壁面の断熱工事を継続	○	継続	
ガソリンによる二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	○	88%	基準年度比原単位換算で13%減
・自社便での配達から混載便での出荷へ変更	○	継続	自社便、社用車、物流含むCO2排出量のモニタリング、数値抑制に取り組む。
・公共交通機関により社用車の使用削減	○	継続	
・アイドリングストップ車導入	○	継続	
・省エネ車の導入 2台目	○	継続	
一般廃棄物の削減			
数値目標	○	99%	目標変更を検討。前年度マイナスの更新。
・材料取りの工夫で廃棄物を削減	○	継続	昨年度同様、廃棄物の削減目標を達成。稼働時間、製品数減少の影響も有り。引き続き無駄な廃棄物を減らす取り組みを行う。
・資源ごみのリサイクル化	○	継続	
・注型レベル精度UPによる廃棄物の削減	○	継続	
水使用量の削減			
数値目標	○	88%	基準年度比25%減少
・ホースに手元バルブをつけて流し放ち防止	○	継続	節水意識の向上、周知を徹底。金型洗浄業務への対応を検討。
・節水タイプのトイレに更新 本社1、2F	○	継続	
・水漏れ確認	○	継続	
品質管理			
数値目標	×	10件	11件発生
・クレーム・手戻り品の削減	×	継続	改悪。原因分析と改善を記録として残し、次の期及び実業務に反映していく。
製品への環境配慮			
数値目標	×	50%	環境配慮製品比率25%
・独自の樹脂製金型技術で型のリサイクル	○	継続	展示会出展やSNSなど既存露出以外の方法で顧客獲得、知名度向上を狙う。
・省エネ型の新工法成型機・成型型の拡販	○	継続	
・省エネ設計・省エネ機器の採用	×	継続	
溶剤の適正管理			
数値目標	○	12回	
・溶剤の適正管理の徹底	○	継続	毎月実施。
グリーン購入			
・品目数の向上	○	継続	継続してエコ商品、備品の優先導入を進めます。
社会貢献			
・会社周辺の清掃活動	○	継続	毎朝工場周辺の清掃・緑化エリアへの散水を継続実施する。
・工場の緑化推進	○	継続	

□法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理委託
騒音・振動規制法	空圧機、(7.5KW空気圧縮機3基 設置届け申請受理済 2012/8/23)
フロン排出抑制法	業務用空調機、エアドライヤの廃棄時適正処理、簡易点検
自動車リサイクル法	営業用乗用車、トラックの廃棄時リサイクル
Nox・PM法/大阪府条例	トラック、バンの排気ガス規制/流入車規制
家電リサイクル法	テレビ、冷蔵庫等のリサイクル
消防法	少量危険物貯蔵の届け出

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

今期通年度12期目の活動を実施し、結果を確認しました。今期の売り上げは前期比7%減少、機械稼働率も3%減少となりました。製品の受注傾向は大型の金属ロールや高硬度・高精度の金型製作の割合が多い影響もあり、エアコンによる温度管理等が求められる環境が続いております。前回審査時より電力使用におけるCO2排出係数を変更。全体のCO2排出量の目標に対しては達成率120%、原単位基準年度比では14%減少の結果となりました。その中でも目標未達成の項目が品質管理と環境配慮製品の販売比率となりました。品質管理については細かなミスが続き、受注生産の難しさやミスの原因分析と対策の継続を社内で意思統一することの難しさを実感しました。環境配慮製品についてはアップサイクル関係の展示会出展やSNS等のPRをしており、今後のビジネスに繋がる取り組みを継続して展開しております。その他、工場環境においては、引き続き外部コミュニケーションにおける騒音対策に苦慮しておりますが、弊社で取り組める工場内の防音やレイアウト変更などによる改善活動を継続していく所存です。来期以降も環境マネジメントシステムは変更無く継続運用し、自社経営課題の解決と目標達成に向けて取り組みます。

環境経営方針 変更なし 変更あり
 環境経営目標・計画 変更なし 変更あり
 実施体制他 変更なし 変更あり

代表取締役社長 三木 元親

廃棄型、廃材の活用を継続。アップサイクル技術をテーマにした展示会に出展。



環境配慮型製品の拡販、PRを引き続き強化。

